

1 学校評価アンケート結果の考察

学校評価アンケートは21項目ありました。児童、保護者及び教職員それぞれ同様な項目でアンケートを実施しました。その結果は、別紙のとおりです。肯定の割合（「思う」「やや思う」）が80%に満たない項目につきましては、今後の課題として、以下のとおり改善に向けて努力してまいります。

（8）（9）（10）については、お子さんの学力にかかわる項目でした。担任は日々、授業研究を行い、わかりやすい授業に努めているところです。引き続き、研鑽を重ねてまいります。また、今年度導入したタブレットを有効活用した授業も行っております。タブレットを活用した効果的な授業方法をさらに探っていきます。なお、家庭学習につきましては、家庭学習の手引きを活用していこうと考えております。

（13）については、お子さんの挨拶や言葉遣いにかかわる項目でした。お子さん自身の評価が特に低い結果となりました。挨拶や言葉遣いは、日々の積み重ねが大切です。教職員一同がさらに意識してお子さんと接し、改善していこうと考えます。

（14）（15）については、体力向上及び食育にかかわる項目でした。体力向上につきましては、コロナ禍もあり、現在も制限しながらの体育や休み時間の活動となっていますが、その中でできる最大限の活動になるよう努めています。食育につきましては、お子さん自身の評価が特に低く、食べ物の好き嫌いがあると感じているようです。給食はバランスのとれた食を提供するため、お子さんにとって、苦手な食べ物や食べたことのない食べ物があるように感じます。少しでも食べたという経験をたくさん積ませたいと考えています。

（16）については、学校生活にかかわる項目でした。この項目は何より大切な項目だと受け止めています。「学校は楽しい場所」と思える教育活動を展開するため、学校が一丸となってすすめていきます。

（17）については、いじめにかかわる項目でした。学校では、今年度より、睦岡っ子アンケートを月に1度実施するとともに、教育相談を学期に1度担任が学級全員と行うなど、いじめの早期発見に努めております。道徳の授業を中心に、様々な教育活動を行う中で児童の心を豊かにするなど、いじめの予防に努めています。また、心の教室相談員が週に3日勤務し、スクールカウンセラーが月に2回程度来校するなど、児童が相談することも多くあります。今後もいじめのない楽しい学校生活が送れるよう全職員一丸となってすすめていきます。

（18）（19）については、個別指導、個別支援にかかわる項目でした。学校では、県の少人数指導教員を1名、市の少人数指導教員を1名配置しており、算数の授業を複数で指導しております。具体的には、学級を2つに分けて指導したり、複数の教職員で1つの学級を指導したり（ティームティーチング）して、きめ細かく学習を行っております。また、支援員を2名配置しており、特別に支援を要する児童に声をかけたり、支援したりして対応しております。本校では、教員だけでなく、様々な立場の方が児童の健やかな成長のために対応しております。今後もきめ細かな指導や支援を行っていきます。

2 その他

今回の学校評価アンケートでは、「わからない」とお答えになった項目がこれまで以上に多くありました。コロナ禍のため、学校の様子がなかなか伝えられず、大変申し訳なく思っております。学校だよりやホームページを充実させ、児童の様子をお伝えしていきます。また、参観等もできる限り行っていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。